明星通信 よくある修得パターン

教育職員免許法第6条別表第４
「中学校（社会）、高等学校（地理歴史、公民）」

憧れていた
先生は
いましたか？

明星通信で教員になる。

教育職員免許法第6条別表第4の適用により教員免許状を取得する

＜注意＞

本資料は、教育職員免許法第6条の適用により教員免許状取得を目指す方が、本学において単位を修得をする場合に、一般的に修得が必要とされる科目（単位数）を示したものです。

- 教育職員免許法第6条の適用可否については、本学で判断いたしかねます。必ず教員免許状申請先、または勤務先の所在する都道府県教育委員会へ事前に確認を行ってください。
- 教員免許状申請先の都道府県により、修得が必要な科目（単位）が異なる場合があります。同法令の適用可否と併せて、履修科目（単位）の内訳等の詳細についても、確認・履修相談を行ったうえで出願してください。都道府県教育委員会に確認を行わず、本資料に基づいて単位修得をした場合でも、教員免許状の取得を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

■別表第4に基づき、本学で必要単位を履修する場合

中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状として、同校種他教科の免許状を取得する

※『2026年度大学案内・学生募集要項』P118～122より抜粋

別表第4

第1欄	第2欄	第3欄
所要資格 受けようとする他の教科についての免許状の種類	有することを必要とする第１欄に掲げる教員の１以上の教科についての免許状の種類	大学において修得することを必要とする教科及び教職に関する科目の最低単位数
中学校教諭１種免許状	中学校教諭専修免許状または中学校教諭１種免許状	28
中学校教諭２種免許状	中学校教諭専修免許状、中学校教諭１種免許状または中学校教諭２種免許状	13
高等学校教諭１種免許状	高等学校教諭専修免許状または高等学校教諭１種免許状	24

希望する免許校種（第1欄）と同等以上の免許状（第2欄）を所持している方が対象となります。
定められた単位数（第3欄）の修得が必要です。

単位の内訳

受けようとする免許状の種類	最低修得単位数 ① 教科に関する専門的事項に関する科目	最低修得単位数 ② 各教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目
中学校教諭１種免許状	20	8	
中学校教諭２種免許状	10	3	
高等学校教諭１種免許状	20	4	

次ページより、希望する校種（教科）に沿って、本学開講科目より①②の履修科目の内訳を確認します。

■別表第4に基づき、本学で必要単位を履修する場合

中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状として、同校種他教科の免許状を取得する

中学校（社会）・高等学校（地理歴史・公民）1種　両校種3教科を取得する場合

※募集要項では3教科別の科目表になっておりますが、履修案内用に統合されたものを掲載しております。

●印：一般的包括的内容を含む科目（中学校社会）
◇印：一般的包括的内容を含む科目（高等学校地理歴史）
◆印：一般的包括的内容を含む科目（高等学校公民）

別表第4　中学校（社会）・高等学校（地理歴史・公民）

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等								
	中学校（社会）	高等学校（地歴）	高等学校（公民）	科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング受講費
① 教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史	—	PE2010	●◇日本史概説※1	2	RT	
				PE2020	日本史各論1	2	RT	
				PE2030	日本史各論2	2	RT	
		外国史	—	PE2040	●◇外国史概説※1	2	RT	
				PE3010	外国史各論1（東洋史）	2	RT	
				PE3020	外国史各論2（西洋史）	2	RT	
				PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学・自然地理学	—	PE3030	◇人文地理学※2	2	RT	
				PE3040	◇自然地理学※2	2	RT	
		地誌	—	PE3050	◇地誌学概説	2	RT	
				PE2052	●地理学入門（地誌を含む）	2	RT	
	「法律学、政治学」	—	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	PE2062	●◆法律学概論1（国際法を含む）※3	2	RT	
				PE2072	法律学概論2（国際法を含む）	2	RT	
				PE3072	●◆政治学概論1（国際政治を含む）※3	2	RT	
				PE3082	政治学概論2（国際政治を含む）	2	RT	
	「社会学、経済学」	—	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	PE2080	●◆社会学概論※3	2	RT	
				PA2050	教育社会学	2	RT	
				PE2092	●◆経済学概論1（国際経済を含む）※3	2	RT	
				PE2102	経済学概論2（国際経済を含む）	2	RT	
	「哲学、倫理学、宗教学」	—	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	PE3060	●◆哲学概論	2	RT	
				PA2040	教育哲学	2	RT	
				PE2120	宗教学概論	2	RT	
				PE2110	倫理学概論	2	RT	
					計	46		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） ②				PE2130	社会・地理歴史科教育法1※4	2	RTorSR	（¥11,000）
				PE3100	社会・地理歴史科教育法2※4	2	RTorSR	（¥11,000）
				PE3110	社会・公民科教育法1※4	2	RTorSR	（¥11,000）
				PE3120	社会・公民科教育法2※4	2	RTorSR	（¥11,000）
					計	8		

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『日本史・外国史』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●日本史概説」「●外国史概説」両方の単位修得が必要になります。
※2 免許法施行規則に定める科目区分の『人文地理学・自然地理学』の一般的包括的内容を満たすには、「◇人文地理学」「◇自然地理学」両方の単位修得が必要になります。
※3 免許法施行規則に定める科目区分が「　」（カギカッコ）で囲まれた科目については各科目区分の中で選択制となるため、対象となる本学開講科目名の●印のついている科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。
※4 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）】については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

【本学開講科目（単位数）】

①『教科に関する専門的事項』について

1. 「●◇日本史概説」「●◇外国史概説」「◇人文地理学」「◇自然地理学」「◇地誌学概説」「●地理学入門（地誌を含む）」「●◆哲学概論」
   以上7科目（14単位）必須

2. 「●◆法律学概論1（国際法を含む）」または「●◆政治学概論1（国際政治を含む）」**より1科目（2単位）選択**

3. 「●◆社会学概論」または「●◆経済学概論1（国際経済を含む）」**より1科目（2単位）選択**

4. 「日本史各論1」「日本史各論2」「外国史各論1（東洋史）」「外国史各論2（西洋史）」「教育の歴史と思想」**より4科目（8単位）選択**

5. 「2の未選択科目」「3の未選択の科目」「法律学概論2（国際法を含む）」「政治学概論2（国際政治を含む）」「教育社会学」「経済学概論2（国際経済を含む）」「教育哲学」「宗教学概論」「倫理学概論」
   より7科目（14単位）選択

②『各教科の指導法』について

「社会・地理歴史科教育法1」「社会・地理歴史科教育法2」「社会・公民科教育法1」「社会・公民科教育法2」**以上4科目（8単位）必須**

30単位を超える履修は2年目になります。

【計24科目（48単位）の履修が必要】

■別表第4に基づき、本学で必要単位を履修する場合

中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状として、同校種他教科の免許状を取得する

中学校（社会）・高等学校（地理歴史）1種 両校種2教科を取得する場合

※募集要項では3教科別の科目表になっておりますが、履修案内用に統合されたものを掲載しております。

●印：一般的包括的内容を含む科目(中学校社会)
◇印：一般的包括的内容を含む科目(高等学校地理歴史)
◆印：一般的包括的内容を含む科目(高等学校公民)

別表第4 中学校(社会)・高等学校(地理歴史・公民)

(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等				科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング受講費
① 教科に関する専門的事項	中学校(社会)	高等学校(地歴)	高等学校(公民)					
	日本史・外国史	日本史	—	PE2010	●◇日本史概説※1	2	RT	
				PE2020	日本史各論1	2	RT	
				PE2030	日本史各論2	2	RT	
		外国史	—	PE2040	●◇外国史概説※1	2	RT	
				PE3010	外国史各論1(東洋史)	2	RT	
				PE3020	外国史各論2(西洋史)	2	RT	
				PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
	地理学(地誌を含む。)	人文地理学・自然地理学	—	PE3030	◇人文地理学※2	2	RT	
				PE3040	◇自然地理学※2	2	RT	
		地誌	—	PE3050	◇地誌学概説	2	RT	
				PE2052	●地理学入門(地誌を含む)	2	RT	
	「法律学、政治学」	—	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	PE2062	●◆法律学概論1(国際法を含む)※3	2	RT	
				PE2072	法律学概論2(国際法を含む)	2	RT	
				PE3072	●◆政治学概論1(国際政治を含む)※3	2	RT	
				PE3082	政治学概論2(国際政治を含む)	2	RT	
	「社会学、経済学」	—	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	PE2080	●◆社会学概論※3	2	RT	
				PA2050	教育社会学	2	RT	
				PE2092	●◆経済学概論1(国際経済を含む)※3	2	RT	
				PE2102	経済学概論2(国際経済を含む)	2	RT	
	「哲学、倫理学、宗教学」	—	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	PE3060	●◆哲学概論	2	RT	
				PA2040	教育哲学	2	RT	
				PE2120	宗教学概論	2	RT	
				PE2110	倫理学概論	2	RT	
					計	46		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。) ②				PE2130	社会・地理歴史科教育法1※4	2	RTorSR	(¥11,000)
				PE3100	社会・地理歴史科教育法2※4	2	RTorSR	(¥11,000)
				PE3110	社会・公民科教育法1※4	2	RTorSR	(¥11,000)
				PE3120	社会・公民科教育法2※4	2	RTorSR	(¥11,000)
					計	8		

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『日本史・外国史』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●日本史概説」「●外国史概説」両方の単位修得が必要になります。
※2 免許法施行規則に定める科目区分の『人文地理学・自然地理学』の一般的包括的内容を満たすには、「◇人文地理学」「◇自然地理学」両方の単位修得が必要になります。
※3 免許法施行規則に定める科目区分が「 」(カギカッコ)で囲まれた科目については各科目区分の中で選択制となるため、対象となる本学開講科目名の●印のついている科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。
※4 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)】については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

【本学開講科目（単位数）】

①『教科に関する専門的事項』について

1. 「●◇日本史概説」「●◇外国史概説」
「◇人文地理学」「◇自然地理学」「◇地誌学概説」
「●地理学入門（地誌を含む）」「●◆哲学概論」
以上7科目（14単位）必須

2. 「●◆法律学概論1（国際法を含む）」または
「●◆政治学概論1（国際政治を含む）」**より1科目（2単位）選択**

3. 「●◆社会学概論」または
「●◆経済学概論1（国際経済を含む）」**より1科目（2単位）選択**

4. 「日本史各論1」「日本史各論2」「外国史各論1（東洋史）」
「外国史各論2（西洋史）」「教育の歴史と思想」**より4科目（8単位）選択**

②『各教科の指導法』について

「社会・地理歴史科教育法1」「社会・地理歴史科教育法2」
「社会・公民科教育法1」「社会・公民科教育法2」
以上4科目（8単位）必須

30単位を超える履修は
2年目になります。

【計17科目（34単位）の履修が必要】

■別表第4に基づき、本学で必要単位を履修する場合

中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状として、同校種他教科の免許状を取得する

中学校（社会）・高等学校（公民）1種 両校種2教科を取得する場合

※募集要項では3教科別の科目表になっておりますが、履修案内用に統合されたものを掲載しております。

●印：一般的包括的内容を含む科目（中学校社会）
◇印：一般的包括的内容を含む科目（高等学校地理歴史）
◆印：一般的包括的内容を含む科目（高等学校公民）

別表第4　中学校（社会）・高等学校（地理歴史・公民）

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等				科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング受講料
① 教科に関する専門的事項	中学校（社会）	高等学校（地歴）	高等学校（公民）					
	日本史・外国史	日本史	—	PE2010	●◇日本史概説※1	2	RT	
				PE2020	日本史各論1	2	RT	
				PE2030	日本史各論2	2	RT	
		外国史	—	PE2040	●◇外国史概説※1	2	RT	
				PE3010	外国史各論1（東洋史）	2	RT	
				PE3020	外国史各論2（西洋史）	2	RT	
				PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学・自然地理学	—	PE3030	◇人文地理学※2	2	RT	
				PE3040	◇自然地理学※2	2	RT	
		地誌	—	PE3050	◇地誌学概説	2	RT	
				PE2052	●地理学入門（地誌を含む）	2	RT	
	「法律学、政治学」	—	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	PE2062	●◆法律学概論1（国際法を含む）※3	2	RT	
				PE2072	法律学概論2（国際法を含む）	2	RT	
				PE3072	●◆政治学概論1（国際政治を含む）※3	2	RT	
				PE3082	政治学概論2（国際政治を含む）	2	RT	
	「社会学、経済学」	—	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	PE2080	●◆社会学概論※3	2	RT	
				PA2050	教育社会学	2	RT	
				PE2092	●◆経済学概論1（国際経済を含む）※3	2	RT	
				PE2102	経済学概論2（国際経済を含む）	2	RT	
	「哲学、倫理学、宗教学」	—	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	PE3060	●◆哲学概論	2	RT	
				PA2040	教育哲学	2	RT	
				PE2120	宗教学概論	2	RT	
				PE2110	倫理学概論	2	RT	
					計	46		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） ②				PE2130	社会・地理歴史科教育法1※4	2	RTorSR	（¥11,000）
				PE3100	社会・地理歴史科教育法2※4	2	RTorSR	（¥11,000）
				PE3110	社会・公民科教育法1※4	2	RTorSR	（¥11,000）
				PE3120	社会・公民科教育法2※4	2	RTorSR	（¥11,000）
					計	8		

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『日本史・外国史』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●日本史概説」「●外国史概説」両方の単位修得が必要になります。
※2 免許法施行規則に定める科目区分の『人文地理学・自然地理学』の一般的包括的内容を満たすには、「◇人文地理学」「◇自然地理学」両方の単位修得が必要になります。
※3 免許法施行規則に定める科目区分が「　」（カギカッコ）で囲まれた科目については各科目区分の中で選択制となるため、対象となる本学開講科目名の●印のついている科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。
※4 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）】については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

【本学開講科目（単位数）】

①『教科に関する専門的事項』について

1. 「●◇日本史概説」「●◇外国史概説」
   「●地理学入門（地誌を含む）」「●◆哲学概論」**以上4科目（8単位）必須**

2. 「●◆法律学概論1（国際法を含む）」または
   「●◆政治学概論1（国際政治を含む）」**より1科目（2単位）選択**

3. 「●◆社会学概論」または
   「●◆経済学概論1（国際経済を含む）」**より1科目（2単位）選択**

4. 「2の未選択科目」「3の未選択の科目」「法律学概論2（国際法を含む）」「政治学概論2（国際政治を含む）」「教育社会学」「経済学概論2（国際経済を含む）」「教育哲学」「宗教学概論」「倫理学概論」
   より7科目（14単位）選択

②『各教科の指導法』について

「社会・地理歴史科教育法1」「社会・地理歴史科教育法2」
「社会・公民科教育法1」「社会・公民科教育法2」**以上4科目（8単位）必須**

【計17科目（34単位）の履修が必要】

30単位を超える履修は2年目になります。

■別表第4に基づき、本学で必要単位を履修する場合

中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状として、同校種他教科の免許状を取得する

中学校1種（社会）のみ取得する場合

〈S実施方法について〉 は対面スクーリング　は遠隔(オンライン)スクーリング　●印：一般的包括的内容を含む科目

別表第4 中学校(社会)　（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
① 教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史	PE2010	●日本史概説※1	2	RT	
			PE2020	日本史各論1	2	RT	
			PE2030	日本史各論2	2	RT	
		外国史	PE2040	●外国史概説※1	2	RT	
			PE3010	外国史各論1(東洋史)	2	RT	
			PE3020	外国史各論2(西洋史)	2	RT	
			PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
	地理学(地誌を含む。)		PE3030	人文地理学	2	RT	
			PE3040	自然地理学	2	RT	
			PE2052	●地理学入門(地誌を含む)	2	RT	
			PE3050	地誌学概説	2	RT	
	「法律学、政治学」		PE2062	●法律学概論1(国際法を含む)※2	2	RT	
			PE2072	法律学概論2(国際法を含む)	2	RT	
			PE3072	●政治学概論1(国際政治を含む)※2	2	RT	
			PE3082	政治学概論2(国際政治を含む)	2	RT	
	「社会学、経済学」		PE2080	●社会学概論※2	2	RT	
			PA2050	教育社会学	2	RT	
			PE2092	●経済学概論1(国際経済を含む)※2	2	RT	
			PE2102	経済学概論2(国際経済を含む)	2	RT	
	「哲学、倫理学、宗教学」		PE3060	●哲学概論	2	RT	
			PA2040	教育哲学	2	RT	
			PE2120	宗教学概論	2	RT	
			PE2110	倫理学概論	2	RT	
				計	45		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。) ②			PE2130	社会・地理歴史科教育法1※3	2	RTorSR	(¥11,000)
			PE3100	社会・地理歴史科教育法2※3	2	RTorSR	(¥11,000)
			PE3110	社会・公民科教育法1※3	2	RTorSR	(¥11,000)
			PE3120	社会・公民科教育法2※3	2	RTorSR	(¥11,000)
				計	8		

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『日本史・外国史』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●日本史概説」と「●外国史概説」両方の単位修得が必要になります。なお『日本史・外国史』のうち、いずれか一方の科目の修得をもって要件を満たす場合は、該当する科目の単位修得のみで構いません。

※2 免許法施行規則に定める科目区分が「　」(カギカッコ)で囲まれた科目については各科目区分の中で選択制となるため、対象となる本学開講科目名の●印のついている科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。

※3 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)】については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

【本学開講科目（単位数）】

① 『教科に関する専門的事項』について

1. 「●日本史概説」「●◇外国史概説」「●地理学入門（地誌を含む）「●哲学概論」**以上4科目（8単位）必須**

2. 「●法律学概論1（国際法を含む）」または「●政治学概論1（国際政治を含む）」**より1科目（2単位）選択**

3. 「●社会学概論」または「●経済学概論1（国際経済を含む）」**より1科目（2単位）選択**

4. 「2の未選択科目」「3の未選択の科目」「日本史各論1」「日本史各論2」「外国史各論1（東洋史）」「外国史各論2（西洋史）」「教育の歴史と思想」「人文地理学」「自然地理学」「地誌学概説」「法律学概論2（国際法を含む）」「政治学概論2（国際政治を含む）」「教育社会学」「経済学概論2（国際経済を含む）」「教育哲学」「宗教学概論」「倫理学概論」**より4科目（8単位）選択**

② 『各教科の指導法』について

「社会・地理歴史科教育法1」「社会・地理歴史科教育法2」「社会・公民科教育法1」「社会・公民科教育法2」

以上4科目（8単位）必須

【計14科目（28単位）の履修が必要】

■別表第4に基づき、本学で必要単位を履修する場合

中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状として、同校種他教科の免許状を取得する

中学校2種（社会）のみ取得する場合

〈S実施方法について〉 は対面スクーリング　は遠隔(オンライン)スクーリング　●印：一般的包括的内容を含む科目

別表第4 中学校(社会)　（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
① 教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史	PE2010	●日本史概説※1	2	RT	
			PE2020	日本史各論1	2	RT	
			PE2030	日本史各論2	2	RT	
		外国史	PE2040	●外国史概説※1	2	RT	
			PE3010	外国史各論1(東洋史)	2	RT	
			PE3020	外国史各論2(西洋史)	2	RT	
			PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
	地理学(地誌を含む。)		PE3030	人文地理学	2	RT	
			PE3040	自然地理学	2	RT	
			PE2052	●地理学入門(地誌を含む)	2	RT	
			PE3050	地誌学概説	2	RT	
	「法律学、政治学」		PE2062	●法律学概論1(国際法を含む)※2	2	RT	
			PE2072	法律学概論2(国際法を含む)	2	RT	
			PE3072	●政治学概論1(国際政治を含む)※2	2	RT	
			PE3082	政治学概論2(国際政治を含む)	2	RT	
	「社会学、経済学」		PE2080	●社会学概論※2	2	RT	
			PA2050	教育社会学	2	RT	
			PE2092	●経済学概論1(国際経済を含む)※2	2	RT	
			PE2102	経済学概論2(国際経済を含む)	2	RT	
	「哲学、倫理学、宗教学」		PE3060	●哲学概論	2	RT	
			PA2040	教育哲学	2	RT	
			PE2120	宗教学概論	2	RT	
			PE2110	倫理学概論	2	RT	
				計	46		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。) ②			PE2130	社会・地理歴史科教育法1※3	2	RTorSR	(¥11,000)
			PE3100	社会・地理歴史科教育法2※3	2	RTorSR	(¥11,000)
			PE3110	社会・公民科教育法1※3	2	RTorSR	(¥11,000)
			PE3120	社会・公民科教育法2※3	2	RTorSR	(¥11,000)
				計	8		

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『日本史・外国史』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●日本史概説」と「●外国史概説」両方の単位修得が必要になります。なお『日本史・外国史』のうち、いずれか一方の科目の修得をもって要件を満たす場合は、該当する科目の単位修得のみで構いません。

※2 免許法施行規則に定める科目区分が「　」(カギカッコ)で囲まれた科目については各科目区分の中で選択制となるため、対象となる本学開講科目名の●印のついている科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。

※3 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)】については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

【本学開講科目（単位数）】

①『教科に関する専門的事項』について

1. 「●日本史概説」
   「●外国史概説」
   「●地理学入門（地誌を含む）」
   「●哲学概論」　**以上4科目（8単位）必須**

2. 「●法律学概論1（国際法を含む）」または
   「●政治学概論1（国際政治を含む）」より**1科目（2単位）選択**

3. 「●社会学概論」または
   「●経済学概論1（国際経済を含む）」より**1科目（2単位）選択**

②『各教科の指導法』について

「社会・地理歴史科教育法1」「社会・地理歴史科教育法2」
「社会・公民科教育法1」「社会・公民科教育法2」より**2科目（4単位）選択**

【計8科目（16単位）の履修が必要】

■別表第4に基づき、本学で必要単位を履修する場合

中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状として、同校種他教科の免許状を取得する

高等学校（地理歴史）1種のみ取得する場合

（高等学校は１種のみ。2種免許状はありません。）

〈S実施方法について〉 は対面スクーリング　は遠隔（オンライン）スクーリング　●印：一般的包括的内容を含む科目

別表第4 高等学校（地理歴史）　（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
① 教科に関する専門的事項	日本史		PE2010	●日本史概説	2	RT	
			PE2020	日本史各論１	2	RT	
			PE2030	日本史各論２	2	RT	
	外国史		PE2040	●外国史概説	2	RT	
			PE3010	外国史各論１（東洋史）	2	RT	
			PE3020	外国史各論２（西洋史）	2	RT	
			PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
	人文地理学・自然地理学	人文地理学	PE3030	●人文地理学※1	2	RT	
		自然地理学	PE3040	●自然地理学※1	2	RT	
	地誌		PE2052	地理学入門（地誌を含む）	2	RT	
			PE3050	●地誌学概説	2	RT	
				計	22		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） ②			PE2130	社会・地理歴史科教育法１※2	2	RTorSR	（¥11,000）
			PE3100	社会・地理歴史科教育法２※2	2	RTorSR	（¥11,000）
				計	4		

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『人文地理学・自然地理学』の一般的包括的内容を満たすには、「●人文地理学」と「●自然地理学」両方の単位修得が必要になります。なお『人文地理学・自然地理学』のうち、いずれか一方の科目の修得をもって要件を満たす場合は、該当する科目の単位修得のみで構いません。

※2 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）】については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

【本学開講科目（単位数）】

①『教科に関する専門的事項』について

1. 「●日本史概説」「●外国史概説」
「●人文地理学」「●自然地理学」「●地誌学概説」
以上5科目（10単位）必須

2. 「日本史各論1」「日本史各論2」
「外国史各論1（東洋史）」「外国史各論2（西洋史）」
「教育の歴史と思想」「地理学入門（地誌を含む）」
より5科目（10単位）選択

②『各教科の指導法』について

「社会・地理歴史科教育法1」
「社会・地理歴史科教育法2」
以上2科目（4単位）必須

【計12科目（24単位）の履修が必要】

■別表第4に基づき、本学で必要単位を履修する場合

中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状として、同校種他教科の免許状を取得する

高等学校（公民）1種のみ取得する場合

（高等学校は１種のみ。2種免許状はありません。）

別表第4 高等学校(公民)

（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
① 教科に関する専門的事項	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	PE2062	●法律学概論１(国際法を含む)※1	2	RT	
		PE2072	法律学概論２(国際法を含む)	2	RT	
		PE3072	●政治学概論１(国際政治を含む)※1	2	RT	
		PE3082	政治学概論２(国際政治を含む)	2	RT	
	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	PE2080	●社会学概論※1	2	RT	
		PA2050	教育社会学	2	RT	
		PE2092	●経済学概論１(国際経済を含む)※1	2	RT	
		PE2102	経済学概論２(国際経済を含む)	2	RT	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	PE3060	●哲学概論	2	RT	
		PA2040	教育哲学	2	RT	
		PE2120	宗教学概論	2	RT	
		PE2110	倫理学概論	2	RT	
		PA2260	心理学概論	2	RT	
			計	26		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。) ②		PE3110	社会・公民科教育法１※2	2	RTorSR	(¥11,000)
		PE3120	社会・公民科教育法２※2	2	RTorSR	(¥11,000)
			計	4		

※1 免許法施行規則に定める科目区分が「　」(カギカッコ)で囲まれた科目については各科目区分の中で選択制となるため、対象となる本学開講科目名の●印のついている科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。

※2 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)】については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

【本学開講科目（単位数）】

①『教科に関する専門的事項』について

1.「●法律学概論1（国際法を含む）」または
「●政治学概論1（国際政治を含む）」**より1科目（2単位）選択**

2.「●社会学概論」または
「●経済学概論1（国際経済を含む）」**より1科目（2単位）選択**

3.「●哲学概論」**以上1科目（2単位）必須**

4.「1の未選択科目」「2の未選択の科目」「法律学概論2（国際法を含む）」「政治学概論2（国際政治を含む）」「教育社会学」「経済学概論2（国際経済を含む）」「教育哲学」「宗教学概論」「倫理学概論」「心理学概論」**より7科目（14単位）選択**

②『各教科の指導法』について

「社会・公民科教育法1」
「社会・公民科教育法2」**以上2科目（4単位）必須**

【計12科目（24単位）の履修が必要】

■別表第4に基づき、本学で必要単位を履修する場合

中学校・高等学校教諭免許状を基礎免許状として、同校種他教科の免許状を取得する

高等学校（地理歴史・公民）1種　2教科取得する場合（高等学校は１種のみ。2種免許状はありません。）

〈S実施方法について〉　は対面スクーリング　は遠隔(オンライン)スクーリング　●印：一般的包括的内容を含む科目

別表第4 高等学校(地理歴史)　（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
① 教科に関する専門的事項	日本史		PE2010	●日本史概説	2	RT	
			PE2020	日本史各論1	2	RT	
			PE2030	日本史各論2	2	RT	
	外国史		PE2040	●外国史概説	2	RT	
			PE3010	外国史各論1（東洋史）	2	RT	
			PE3020	外国史各論2（西洋史）	2	RT	
			PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
	人文地理学・自然地理学	人文地理学	PE3030	●人文地理学※1	2	RT	
		自然地理学	PE3040	●自然地理学※1	2	RT	
	地誌		PE2052	地理学入門(地誌を含む)	2	RT	
			PE3050	●地誌学概説	2	RT	
				計	22		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。) ②			PE2130	社会・地理歴史科教育法1※2	2	RTorSR	(¥11,000)
			PE3100	社会・地理歴史科教育法2※2	2	RTorSR	(¥11,000)
				計	4		

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『人文地理学・自然地理学』の一般的包括的内容を満たすには、「●人文地理学」と「●自然地理学」両方の単位修得が必要になります。なお『人文地理学・自然地理学』のうち、いずれか一方の科目の修得をもって要件を満たす場合は、該当する科目の単位修得のみで構いません。
※2 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)】については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

■【本学「地理歴史」開講科目（単位数）】

①『教科に関する専門的事項』について

1.「●日本史概説」「●外国史概説」「●人文地理学」「●自然地理学」「●地誌学概説」**以上5科目（10単位）必須**

2.「日本史各論1」「日本史各論2」「外国史各論1（東洋史）」「外国史各論2（西洋史）」「教育の歴史と思想」「地理学入門（地誌を含む）」**より5科目（10単位）選択**

②『各教科の指導法』について

「社会・地理歴史科教育法1」「社会・地理歴史科教育法2」**以上2科目（4単位）必須**

別表第4 高等学校(公民)　（¥）：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
① 教科に関する専門的事項	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	PE2062	●法律学概論1(国際法を含む)※1	2	RT	
		PE2072	法律学概論2(国際法を含む)	2	RT	
		PE3072	●政治学概論1(国際政治を含む)※1	2	RT	
		PE3082	政治学概論2(国際政治を含む)	2	RT	
	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	PE2080	●社会学概論※1	2	RT	
		PA2050	教育社会学	2	RT	
		PE2092	●経済学概論1(国際経済を含む)※1	2	RT	
		PE2102	経済学概論2(国際経済を含む)	2	RT	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	PE3060	●哲学概論	2	RT	
		PA2040	教育哲学	2	RT	
		PE2120	宗教学概論	2	RT	
		PE2110	倫理学概論	2	RT	
		PA2260	心理学概論	2	RT	
			計	26		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。) ②		PE3110	社会・公民科教育法1※2	2	RTorSR	(¥11,000)
		PE3120	社会・公民科教育法2※2	2	RTorSR	(¥11,000)
			計	4		

※1 免許法施行規則に定める科目区分が「　」(カギカッコ)で囲まれた科目については各科目区分の中で選択制となるため、対象となる本学開講科目名の●印のついている科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。
※2 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)】については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

■【本学「公民」開講科目（単位数）】

①『教科に関する専門的事項』について

1.「●法律学概論1（国際法を含む）」

または「●政治学概論1（国際政治を含む）」**より1科目（2単位）選択**

2.「●社会学概論」または「●経済学概論1（国際経済を含む）」**より1科目（2単位）選択**

3.「●哲学概論」**以上1科目（2単位）必須**

4.「1の未選択科目」「2の未選択の科目」「法律学概論2（国際法を含む）」「政治学概論2（国際政治を含む）」「教育社会学」「経済学概論2（国際経済を含む）」「教育哲学」「宗教学概論」「倫理学概論」「心理学概論」**より7科目（14単位）選択**

②『各教科の指導法』について

「社会・公民科教育法1」「社会・公民科教育法2」**以上2科目（4単位）必須**

両免許状取得希望の場合【計24科目（48単位）の履修が必要】

30単位を超える履修は2年目になります。